

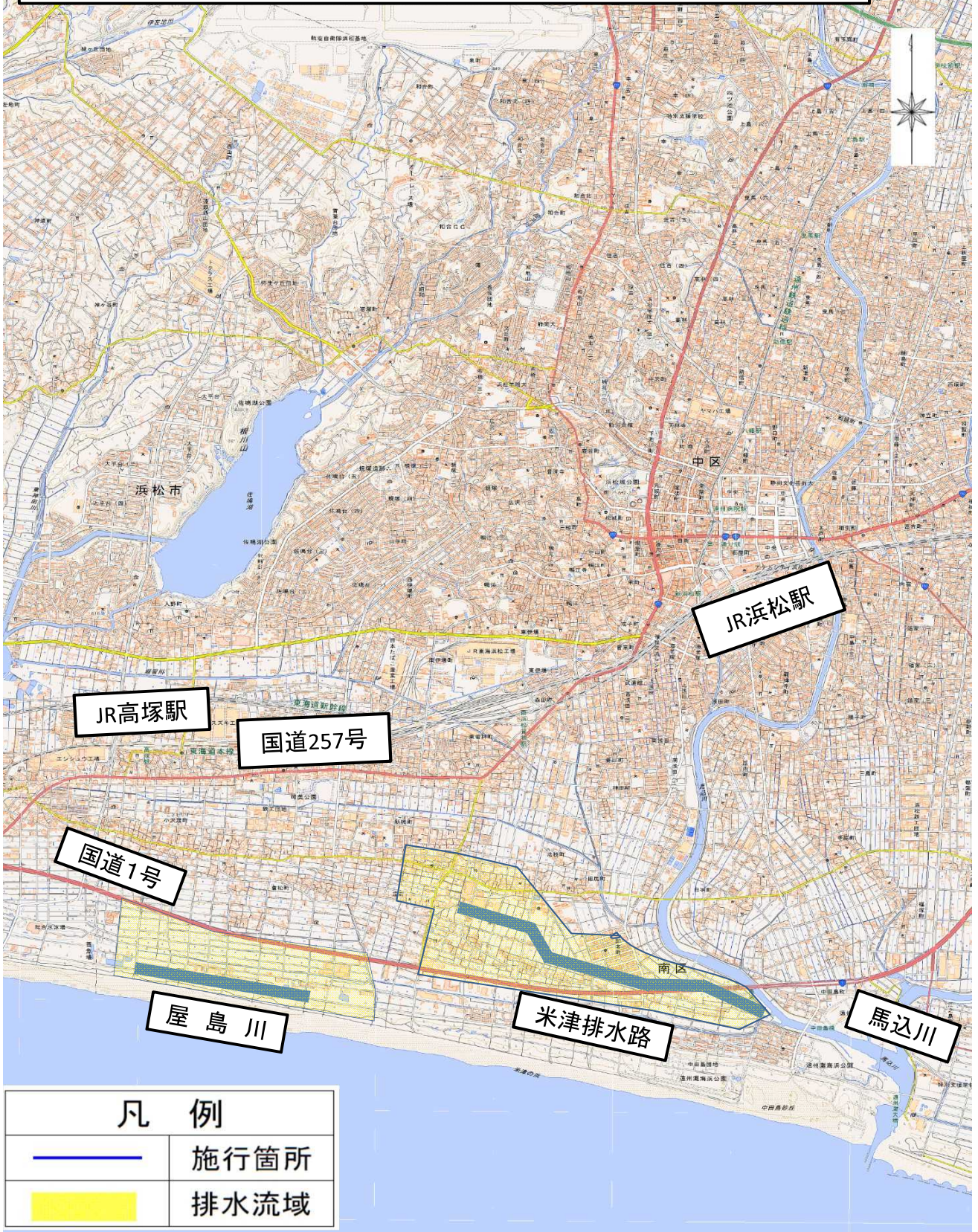
番号	4	令和5年度公共事業再評価調査			担当課名 農地保全課	
事業名	農地防災事業			事業主体	静岡県	
地区名	米津排水路			関係市町村	浜松市	
事業採択年度	平成25年度		計画期間	平成25年度～令和7年度		
再評価理由	事業採択(H25)後10年間の経過した時点で継続中		工事着手年度	平成25年度		
事業費 (百万円)	全体計画事業費		R3年度まで	R4年度	R5年度見込	R6年度以降
	2,670		1,552	58	263	798
事業量	排水路工 延長3,832m		2,421	80	350	981
事業概要	<p>(1)事業目的 本地区の流域では、周辺の土地利用の変化等により、排水路への流入量が増加し、現況の通水断面では流下能力不足となっている。 また、昭和30年代前半に築造された施設であり老朽化の進行により、既設護岸ブロック等の崩壊が通水を阻害し、豪雨時には農用地等に甚大な被害を及ぼす危険性が高まっている。このため、早急に改修を実施し、農用地等に係る災害を未然に防止するとともに、農業生産の維持、農業経営の安定化を図る。</p> <p>(2)事業内容 (受益面積：149.0ha（水田：59.2ha、畑：89.8ha） ・排水路工：延長3,832m</p>					
事業の必要性等	<p>【視点1】(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 本地区は浜松市南部の遠州灘沿いに位置し、国道1号などの主要道路が近隣に存在し、交通条件に恵まれた地域である。 地区の排水を担う米津排水路及び屋島川については、流域内の開発等により、排水路への流入量が増大しており、近年の頻発化、激甚化した豪雨時には甚大な湛水被害が発生しており、早急な排水対策が必要となっている。</p> <p>(2)事業の投資効果 総便益(B)：20,783,518千円 総費用(C)：8,076,593千円 総費用総便益比(B/C)：2.57 経済的内部収益率(EIRR)：20.4%</p> <p>(3)事業の進捗状況(R5年度末見込み) R6年度以降残事業 事業費ベース進捗率：70.1% 排水路：延長981m 事業量ベース進捗率：74.4%</p> <p>評価 継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない</p>					
今後の事業の進捗の見込み	<p>【視点2】令和4年度までに屋島川の改修が完了し、米津排水路においても計画延長の約半分が完了している。今後は、残施工区間を複数区間に分け計画的に施工することで進捗率を上げ、令和7年度までに完了する見込みである。</p> <p>評価 継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない</p>					
コスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>【視点3】各排水路の現場状況を考慮し、区間ごとに経済性・施工性の観点から最適な構造・工法を検討・採用することでコスト縮減を図る。</p>					
対応方針	<p>(1)対応方針 本事業を(継続)見直し後継続・中止)する。</p> <p>(2)理由 地域住民からは、令和4年の台風15号の際に、先行して改修した屋島川での効果を実感しており、未整備区間が残る米津排水路の早期完成を望む声が上がっている。本事業により湛水被害が軽減されることで安定した農業経営が図られるとともに、生活環境の安全性向上が地域全体の活性化に繋がることから、事業の早期完成を目指していく。</p>					

費用対効果の分析資料

担当部課名 農地保全課

事業名	農地防災事業	地区名	米津排水路	(よねづはいずいろ)
効果の算定				
総 便 益 額 の 内 訳	作物生産効果	農業用排水路の改良整備により、水田が排水状況が改善され作物（水稻）増収の効果が発生する。また、裏作（玉ねぎ等）の作付け増加が見込まれる。 [便 益] = 千円		
	維持管理費節減効果	農業用排水路の整備により、維持管理する施設の面積が増量するため、施設がない場合に比べて維持管理費が増加する。 [便 益] = △ 74,282 千円		
	国産農産物安定供給効果	農業用排水路の整備による農地や水利条件の改善により、国産農産物の安定供給が図れるため、国民が感じる安心感の効果が発生する。 [便 益] = 千円		
	災害防止効果（農業関係資産）	農業用排水路を整備することにより、異常気象時における農作物（水稻）への被害や農地、農道、支線排水路等の復旧被害の費用の軽減が見込まれる。 [便 益] = 5,180,401 千円		
	災害防止効果（一般資産）	農業用排水路を整備することにより、異常気象時における地区内にある宅地や事業所への浸水を軽減し、清掃費用や修繕や営業停止に伴う損失など、被害の軽減が見込まれる。 [便 益] = 13,825,241 千円		
	災害防止効果（公共資産）	農業用排水路を整備することにより、異常気象時における地区内にある市道への湛水を軽減し、その復旧費用の軽減が見込まれる。 [便 益] = 1,852,158 千円		
	総便益	0 + △ 74,282 + 0 + 5,180,401 + 13,825,241 + 1,852,158 = 20,783,518 千円		
	総費用	8,076,593 千円		
	① 事業着手時の資産価額	2,667,561 千円	（既施設の資産額を減価償却により整理）	
	② 当該事業費	2,913,129 千円	（当該事業で整備する施設費用）	
③ 関連事業費	0 千円	（当該事業に関連する施設の費用）		
④ 評価期間における再整備費	2,898,498 千円	（工事期間+40年の評価期間内の再整備費）		
⑤ 評価期間終了時点の資産価額	402,595 千円	（工事期間+40年の評価期間終了時の資産額）		
総費用=①+②+③+④-⑤	8,076,593 千円			
総費用総便益比				
①総便益	20,783,518 千円			
②総費用	8,076,593 千円			
総費用総便益比 =	2.57			

位置図 農地防災事業 米津排水路地区



位置図

ため池等整備事業 米津排水路地区 計画一般図



実施前の湛水状況(H24.8.14豪雨)

24時間雨量
183mm

受益地内の水田



受益地内の水田



受益地内の道路



受益地内の畑地



施設の状況

拡幅改修による排水能力の増加



米津排水路 整備前



米津排水路 整備後



屋島川 整備前



屋島川 整備後

効果の発現状況

【農作物の品質向上】排水改良により地域全体で良質な玉ねぎ等を栽培

日本農業賞の大賞・特別賞受賞者

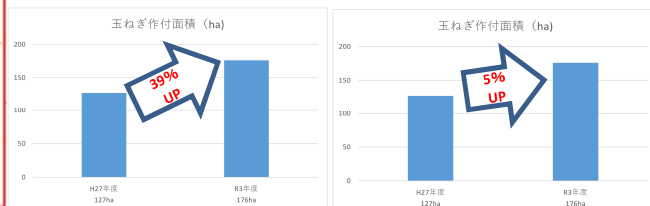
日本農業賞 大賞に7個人・団体

JAやさと有機栽培部、JA電報みなみスイートピー出荷連合、サとだエコレモングループ、JAとびぶ浜松玉葱部、島路村農業協同組合、ねっか、日向屋、和歌山県田辺市・ミカン、海、ジビエ

日本農業賞特別賞受賞記事



玉ねぎ収穫状況



玉ねぎ作付面積と生産額の推移

【排水能力の増加】



R4.9.23台風15号での湛水被害無
(屋島川：この時点で、概ね8割改修済)

多面的機能発揮促進事業活動状況【倉松農地保全会】



倉松農地保全会による農業用施設の点検状況と環境活動